

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
不動ヶ丘病院 病棟建替工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.9
Q1 室内環境			0.40		2.7
1 音環境		3.0	0.15	2.9	1.00
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40
1.2 遮音		3.2	0.40	3.8	0.40
1 開口部遮音性能	サッシ遮音性能T-2	5.0	0.40	5.0	0.30
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	1.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	5.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	5.0	0.20
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20
2 温熱環境		2.4	0.35	2.3	1.00
2.1 室温制御		2.6	0.50	2.4	0.50
1 室温		2.0	0.38	2.0	0.57
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境		2.0	0.25	3.3	1.00
3.1 昼光利用		1.8	0.30	2.4	0.30
1 昼光率		1.0	0.60	2.0	0.60
2 方位別開口		-	-	-	-
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.30
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御	専)病室のベッド単位で照明ごとにON-OFF可能	3.0	0.25	5.0	0.25
4 空気質環境		3.6	0.25	3.1	1.00
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63
1 化学汚染物質	内装材は規制対象外・F☆☆☆☆を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気		2.0	0.30	1.6	0.38
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-
2 喫煙の制御	喫煙室は天井裏まで区画し負圧に保つなど十分な対策を実施	5.0	1.00	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-
1 機能性		3.4	0.40	4.6	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60
1 広さ・収納性	専)個室で14.38m ² /床以上、4床室で9.02m ² 以上確保	-	-	5.0	1.00
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.40
1 広さ感・景観	専)CH2500	-	-	4.0	0.50
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している	4.0	1.00	4.0	0.50
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計	トイレは清掃しやすい内装材、外部の鉄部に亜鉛メッキ処理等	4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼40年	5.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塩ビシート20年、壁:クロス(下地共)20年、天井:ホード類30年	5.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA対応	4.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.4	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		共)壁長さ比率=0.22、専)壁長さ比率=0.11	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		天井内転シ配線・PF管配線等により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		天井内転シ配線・PF管配線等により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		屋上部に設備機器の予備が置けるスペースがある	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		建物の断熱を適切に配し外部からの熱負荷に配慮	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.93	2.3	0.50	-	-	2.3
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓や節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床下:ポリスチレンフォーム、舗装:再生アスファルト	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別性に配慮	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡断熱材はノンフロン製品を採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		消費エネルギー量削減により運用時のLCCO2排出量低減に配慮	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの一部を満たす、広告物は過半を満たす	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	